

2019年5月25日 ~ 2019年5月31日

2019年6月4日

先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに上昇しました。トルコの2年国債金利は低下しました。

エルドアン大統領とトランプ米大統領が、今月末日本で開催されるG20（主要20カ国・地域）首脳会合で、ロシアからのミサイルシステム購入について協議を予定していることが報道されたことや、トルコ当局が、服役中の元NASA研究者を釈放すると決定したことが、米国からの経済制裁の回避期待につながりました。また、トルコ中央銀行は外貨預金に対する預金準備率を2%ポイント引き上げました。これらを背景にトルコ・リラは上昇し、国債金利は低下しました。トルコ財務省が国内主要銀行12行に自国債の購入を要請したことも、国債金利の低下につながりました。

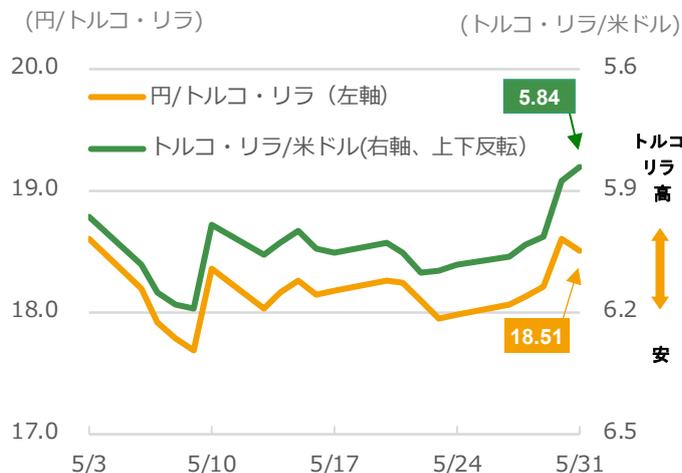
今週の見通し

トルコ国内では、政治面で6月23日（現地）に予定されているイスタンブール市長選挙の再選挙が注目されています。対米関係では、G20首脳会合まで市場の期待感は持続すると考えていますが、トルコ政府のロシア製ミサイルシステムの配備候補地の検討が報道されるなど、購入を撤回するとは考えにくく、楽観視はできません。

ただし、目先はこれまで導入した様々な通貨安対策が功を奏し、トルコ・リラが積極的に売られる環境にはないと考えます。今週のトルコ・リラは、ラマダンで市場休場日が多いこともあり、横ばい圏で推移するとみています。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年5月3日~2019年5月31日)



*四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

トルコ 金利推移

(2019年5月3日~2019年5月31日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。